



YES 通信



〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2019年1月号

中高一貫校を受験するのは何のため？

可也小の生徒が福岡舞鶴誠和中学校に合格しまし

た。小学生で受験勉強するには、本人の意思を含めいろいろなハードルがあると思いますが、それを乗り越えて頑張ってくれました。スタッフ一同とても嬉しく思っています。

今日は、「何のために中学受験をするのだろっ?」「私立中学のメリットって何だろう?」と迷っているみなさんのお役に立てるような記事を書いてみたいと思います。

私が思う一番のメリットは、学習習慣や勉強体力という学力向上の基礎が身に着くということだと思います。「鉄は熱いうち打て」という言葉があるように少しでも早い段階で、学習習慣や長時間勉強できる集中力が身に着くことはとても大きなことだと考えています。以前もお伝えしましたが教育投資効果は幼少のほうが高いです。中学や高校生になって教育に投資するよりも小学生の時に投資したほうが効率的なのです。ちなみに年末に慶応義塾大学に合格した生徒は結果的に志摩中に進学しましたが、中学受験では雙葉中に合格しています。

そのお母様は、お姉さんもYESで中学受験を経験させられたのですが、志摩中に進学させられました。ただ、受験の経験からやっぱり小学生のうちに頑張ることは大事だということで妹さんにもチャレ

ンジを勧められたのです。

教育投資という面でも小学生の時は週3回の通塾、中学では週2回、高校では週1回と教育投資のセオリーとおりの投資をなさっていました。とても参考になると思います。

2番目のメリットは先取り学習が出来るということです。みなさんはご存じないかもしれませんが、公立の小学校や中学校という義務教育の授業水準は最低レベルです。これは学校に問題があるわけではなく、義務教育で落ちこぼれをなるべく出さないように、しかも、必要最小限の学習をいかに効率よく実現するのかに焦点を当てた義務教育ではある意味しかたがない事なのです。ですから学習量もあまり多くはありません。しかし、義務教育が終了した途端、自由競争に全員がさらされるわけです。上は最高峰の東大や医学部を目指すレベルから、下は全入時代の大学までもとても幅が広くなる訳です。

そこで、高校に入ると急に学習量が増えるのです。これは、今に始まったことではなく私達が学生の頃からあったことです。中学まではのんびりと勉強できていたのに、高校に入學すると急に予習しないといけないような授業になってしまうのです。実際には中学の四倍から五倍の勉強量を高校では強いられます。東大や京大を目指すならこれでも

足りないと言っていないでしょう。最近の中高一貫校は、中高一貫校のメリットを生かすために中学3年までに高校1年の範囲を終わらせることが主流になってきています。東大合格校のトップ10がすべて中高一貫なのも頷けます。最近では公立の高校も中高一貫校が増えてきていますが残念ながら福岡にはあまり出来ていません。

3番目が進学に対する意識の高い人が集まっているということです。大学受験は本当に厳しい世界で、高3の春の第一志望校を実際に受験するのはなんと驚きのたったの3%です。そして合格するのはさらに1%台になってしまふという現実があります。それほど大学受験は厳しいのです。しかし、なかなかその現実が生徒たちには伝わりません。やはり、周りの環境はとても大事なのだと痛感しています。私立中学に進学を希望なさっているご家庭は、やはり進学に対する意識が高いと感じています。

先日、元都銀に勤務していたピコ講師が、「東京や関西の人の教育に対する意識の高さにびっくりした。」と福岡との意識の違いを話していました。糸島の学力も転勤族が増えてきたから上がってきたともいわれていますが、それは事実だと思います。やはり環境はとても大事なのだと考えています。

以上3点が、メリットだと思いますが、中学受験は大変なだけに本人の意思がとても重要になります。無理やり受験させて勉強が嫌いになった生徒もいますのでじっくりと考えていきたいものです。

やる気相談室

金運

金運アップのためにやるべきことを挙げてみました

先日、知人の紹介でお金の勉強会に行ってきました。

た。お金って一番大事だと言っても過言ではないのにお金について学ぶ機会はないと。お金って一番大事だと言っても過言ではないのにお金について学ぶ機会はないと。

した。案内してくれた友人にはとても感謝しています。

「金」は一番印象に残ったことは「お金には意思がある。」ということでした。なので、お金が喜ぶようなことをしなければならぬのだそうです。無駄に使ってほしくないし、大切にしかも役に立つように使って欲しいと思ってるみたいです。

「お金は稼げるよりも使うことの方が難しい。」と講師の方がおっしゃっていたのですが、本当に深い言葉だなあと改めて感

じた次第です。お金は良い使い方（世のため人のために使う）をするところに、お金の方から自然と集まって来るのです。

それとは逆にお金が嫌がる使い方はどんな使い方でしょうか？それは、ギャンブルや衝動買い等役に立たないものを買ったり無駄なものを買ったりとお金を粗末に扱うことだそうです。注意したいですね！

お金の使い方レベルには、前にも書いたお金が「一番嫌がる」「浪費」、そして必要なものに使う「消費」、「貯蓄」、そして一番お金が大好きな将来につながる「投資」という4段階があります。お金を使う際には、これは浪費だろうか？消費だろうか？それとも投資だろうか？と常に吟味することが大事だと思います。

私もつい「浪費」しがちで、いつも家内には注意されるのですが、この話を聞いて改めてありがたいことだなあと考えるようになりました。

あと一つ衝撃的だったのがやっぱり「お金のことが大好きにならないといけない」

ということでした。今までお金は欲しいとは思っていましたが、お金が好きだったか？愛していたか？と言われればそうではありませんでした。お金の色や形、香りを愛することが大事で時々眺めたり、お金の置き場所や財布の中を整理整頓したりしてお金にとって居心地よい空間を作り出すことも大事だと言われ、やっぱりお金持ちの方は考え方が違うのだなあと改めて感じた次第です。

良くお金持ちの家は物が少なくとても綺麗だと言われますが、まさにお金はそのような無駄使いせず、整理整頓の行き届いたところが好きなのでしょう。

改めてまわっていると、お金は特別なことをしなくても当たり前であることを当たり前にするには自然と寄ってくるのでしょ。

我が家では私が足を引っ張っているみたいなので、まずは、財布の中のいらぬポイントカード類を整理したり、周りの不要なものを処分したり、出来ることから取り組んでいきたいと思います。

書籍紹介

日本国紀

百田尚樹 著

年末の段階で発行部数が45万部もあるということで購入してみました。届いたときにまずその本の厚さにびっくりでした。ベストセラーの本という小説とは別にして、あまり分厚い本は多くないので読みやすい薄い本かなあと思い注文したのですが、とても分厚くて字も多いかなり詳しい本でした。しかし、さすが当代一のストーリーテラーと帯に書いてあるとおり、百田氏が書くとても読みやすくなっているから不思議です。百田氏の本には右寄り過ぎると賛否両論ありますが、だからこそ読むべき本だと感じています。歴史には必ず2面性があります。戦争が一番いい例で、勝った方負けた方両方にそれぞれ正義があるのです。しかし、歴史は勝った方が作っていくのです。良く「歴史に学ぶ」と言いますがその両方を知ること歴史からいろいろなことを学ぶことが出来るのです。歴史に正解はありません。いろいろな考え方を聞いてそれに対して自分はどう思うのか？今後どうしていけばいいのか？自分なりの考えを持つことが大事だと思います。私はただ過去のことを暗記する歴史が大嫌いでした。過去のことを覚えて何になるのか？と思っていました。しかし、歴史にはいろんな考え方や見方があることを知ってから、歴史に興味を持てるようになりました。歴史に興味を持ってない大人の方や中学生以上の生徒なら読めると思うのでぜひ挑戦して欲しいと思います。

